

目 次

		ページ
EUREKA 〈研究紹介〉	南極隕石の五つ子達	三尾野重義 190
天球儀 〈読物〉	日本天文学界の系図	福江 純・黒川竜男 195
天球儀 〈読物〉	西暦 2000 年 9 月 26 日に小惑星衝突によって人類絶滅か	磯部 秀三 202
ASTRO NEWS 〈天文ニュース〉	修理の鉄人：ハッブル望遠鏡	傳田紀代美 207
シリーズ	〈天体列伝(29)〉 W 49 A	宮脇亮介 209
日本天文学会 1994 年春季年会プログラム		211
雑報		231
月報だより		233

表紙説明

M 100 銀河は、おとめ座銀河団中で最も明るい銀河の一つで、数千万光年の距離にあると推定されている。(左)は修理直前に撮られた WF/PC-I による撮像。主鏡のピンボケのため、中心部の細かい構造は潰れてしまっている。一方、(右)の WF/PC-II による撮像では、中心部の 30 光年スケールの暗い構造までくっきりと分解されているのが分かる。ただし、どちらもピンボケを矯正する画像処理をする前のイメージである。

(ASTRONEWS 参照)